



クレーンではしげに積み込まれる北陸新幹線の新型車両＝7日午前、神戸市兵庫区和田山通2、川崎重工業兵庫工場（撮影・辰巳直之）

NEWワークシート／小学校／国語、社会、総合学習、朝NIE

① この新幹線車両はどこでつくられましたか。

（ ）

② 車両の特徴を書いているところに線を引きましょう。

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

（ ）

来年春に長野―金沢間が開業する北陸新幹線の新型車両「W7系」が7日午前、川崎重工業兵庫工場（神戸市兵庫区）から搬出された。工場の岸壁から、クレーンで約30トンの車両を2両ずつはしげに積み込んだ。
1編成12両で、開業までに川重が4編成を納入する。定員は934人。最高速度は260キロになる。
JR東日本とJR西日本の共同開発で、JR西向けの納

「W7系」いざ北陸

新幹線車両 搬出 神戸



入は今回が初めて。JR東は3月中旬から東京―長野間で運行している。
白地の車体に、北陸の空を表す「空色」と、沿線の伝統工芸品をイメージした「銅色」のライン。デッキに桜や月など日本の伝統美を描いた車両もある。
神戸港で貨物船に積み替えて、金沢港まで輸送。さらにトラックで、JR西日本の白山総合車両所（石川県白山市）まで運ばれる。（高見雄樹）

名前

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

学びポイント！ ～調べてみよう～

- ・北陸新幹線沿線の伝統工芸品とは？
- ・新幹線車両の路線ごとの特徴は？
- ・トラックでの陸上輸送はどのように行われるのでしょうか。